

広報

今 帰 仁 な き じ ん

毎月1日発行

1999

11月

NO.288

●今帰仁村の人口

男4,838人(+8) 女4,780人(+4) 計9,618人(+12)
世帯数3,346戸(+5) 平成11年9月30日現在

今帰仁御神



創造しよう無限の未来へ

北山高校で体育祭

九月二十六日、三年に一度の北山高校の体育祭が行われた。生徒自らが発案し取り組んだプロリーグ、エピソードはこの体育祭の目玉。約三百人の生徒が色とりどりのパネルを巧みに操り「ココロヒトツニ」「タノシモウ」など約六十種類のパネル文字で観衆を魅了。日頃生徒たちが培ってきた「北山魂」を体いっぱい使って表現した。

その他マスゲーム、エイサー太鼓、総力リレー、棒術、創作ダンスなど実行委員会を中心に全校生徒が心をひとつにして短い期間の中で練習を積んできた多彩な演技を披露した。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

種目別順位と記録表 (太字は新記録)

Table with columns for event, rank, name, team, and record. It lists results for various track and field events across different age groups (General, 30s, 40s, 50s, 60s).



▲40代走り幅跳びで新記録を樹立した山城正樹選手(仲宗根)と長男の魁樹君



▲一斉にスタートする女子400Mリレー



▶女子円盤投げて優勝した仲本弘美選手の豪快なフォーム



▲浜里正巳選手(仲宗根)を先頭に力走する30代、1500Mの各ランナー



▲軽々とクリアする棒高跳び優勝の玉城司選手(兼・諸)



▲年令別リレー



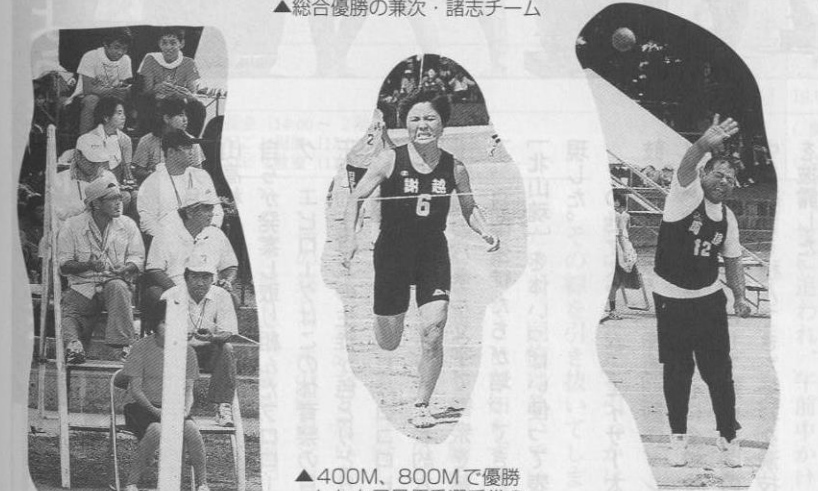
▲見事なハードリングで他を圧倒する島袋幸輝選手(兼・諸)

村体育協会(大城勝会長)主催の第五十四回村陸上競技大会が十月二、三の両日、村運動公園と村営グラウンドで開催された。大会初日は、競技開始直前に大雨が降り最悪のコンディションの中、円盤、やり、ハンマーなどの投擲競技が行われた。大会二日目は前日の天気がまるで嘘のような快晴の秋空の下、午前十時競技を開始。ラックの一般男子二十KMやフィールドの女子砲丸投げなどを皮切りに熱戦を繰り広げた。

その結果、豊富な練習量と人材を誇る兼次・諸志が三部門(一般男子、女子、壮年)を完全制覇するとともに、総合優勝を果たした。今年は、五十代砲丸投げと四十代走り幅跳びで大会新記録が生まれた。特に本大会では、久びさに勢・渡がほとんどの種目に出場し競技を盛り上げた。また、男子最優秀選手賞(村長賞)は五十代砲丸投げで大会新記録を樹立した運天康有選手(両運天)に、女子最優秀選手賞(議長賞)は四百M、八百Mで優勝した仲里綾子選手(謝・越)にそれぞれ贈られた。大会新記録▽五十代砲丸投げ▽運天康有(両運天9m66)▽四十代走り幅跳び山城正樹(仲宗根5m51)



▲総合優勝の兼次・諸志チーム



▲400M、800Mで優勝した女子最優秀選手賞の仲里綾子選手(謝・越)

▲鋭いまざしでスタートの合図を待つ競技役員

Large vertical banner for the '54th Village Track and Field Competition' (村陸上競技大会) featuring the title '兼次・諸志 完全制覇で総合優勝' (Complete domination and overall victory by Kanashi and Monshi).

Table titled '各部門別成績表' (Results by Department) showing overall and category-specific rankings and scores for the winning team.

十月九日、村教育委員会(大城藤夫教育長)主催による村文化協会設立総会が本村を代表する各種伝統芸能やサークルなどの団体から関係者約四百人が参加して村コミュニティセンターで行われ、今帰仁中吹奏楽部の華やかなアトラクションで幕を開けた。村文化協会の目的は、琉球古典音楽部をはじめ十五部



▲あいさつする大城藤夫教育長

会長に黒島直太さん 村文化協会設立総会

会から成るこの組織を活用して毎年実施されている村文化祭をさらに活性化し、今帰仁古来の文化の保存・継承と新しい文化を掘り起こそうというもの。
主催者を代表して大城藤夫教育長は「この文化協会の下、先人の築いた伝統を守り、育成すること为本村を教育と文化の薫り高い村にしていきたい」とあいさつした。議案審議では、一号から三号までの議案を全会一致で承認した後、役員を選任が行われ、会長に黒島直太さん(仲宗根二一八)と副会長に仲原弘哲さん(村歴史文化センター館長)が選ばれた。



▲琉球古典舞踊部会の皆さんによる「かぎやで風」

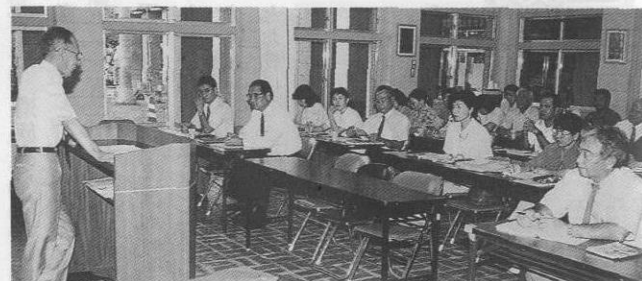


▲黒島直太さん

就任のあいさつで黒島会長は「この文化協会設立を契機に村民みんなの力で文化的なやすらぎのある村を築いていきましよう」と述べた。
また祝賀会は、琉球古典舞踊部会のかぎやで風や婦人会によるフォークダンス、今泊棒術などが披露され、総会を祝った。

幼児、児童生徒の健康の保持増進を目的に九月十四日、平成十一年度第一回学校保健委員会が村中央公民館研修室で開かれ、村をはじめ村内各小、中学校から関係者多数が参加して子どもたちの健康安全に関する諸問題について協議した。
研修会で大田さとみ養護教諭(兼次小)が本村の幼児、児童生徒の健康の現状と課題について提案説明を行い、その中で視力・〇未満や耳鼻

健康な生活習慣を身につけて
疾病を防ごう!
学校保健委員会開催

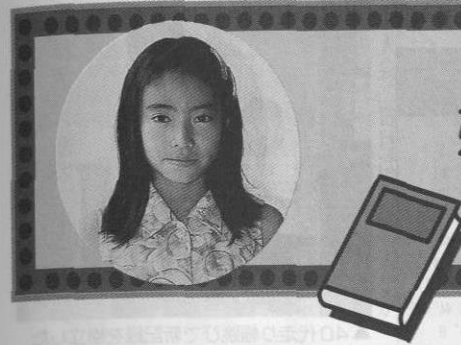


▲講演する光武俊和先生

科各種疾病、肥満などは昨年に比べて若干増えているが、歯科健診では治療状況も全体的に良くなっており、むしろ無しの子が年々増えている。日常生活において健康な生活習慣を身につけることで予防できる疾病が上位を占めていることなどが報告された。
その後、「スポーツと健康」の演題で光武俊和先生(北山病院)の講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

妹と本読み

今帰仁小5年 金城 彩音



私にとって今年の朝読み、夕読みはこれまでと少しちがっていました。それは二月に妹が生まれたからです。妹が病院から帰ってからは、家中で大きな声を出せなくなつたからです。大きな声を出すと妹が起きてしまうので、家ではみんな妹を起こさないように気を使っていました。
私が本読みをしようとする

ので大きな声でも平気です。私は大きな声で読みました。「どいてんか。どいてんか」本読みを始める、妹が「ンワー。ンワー」と言います。私は不思議に思つてもう一度「どいてんか」、「ンワー」。「どいてんか」、「ンワー」。
私が本読みをすると、妹もいつしよに声を出します。そばで聞いていたお母さんが「あやねといっしよに、ほのかも本読みしているみたいだね」とお母さんが言いました。「本当だ。ほのかも本読みしているよ。おもしろい。」私はなんだか楽しくなつてきました。それからは、妹が起きている時に聞かせるつもりで本読みをするようになりました。



▲今帰仁小3年 島袋 妙子

さわやかな
朝にひびく ぼくの声
夕読みすんだら 虫の声
天底小三年 高田 明典

「今日のほのかはどうするかな」。私はこれまでで一番、本読みをするのが楽しみになりました。本を読むのもとても好きになりました。
私が本読みをすると、妹はそれに合わせて声を出し、合図をしてくれます。まるで「おねえちゃん、本読み上手だね」と妹にほめられている

ようです。誰にほめられるよりもとてもうれしいです。いつまで妹が私の本読みにつき合ってくれるのかわかりませんが、妹がつき合ってくれるまで私は、ほのかに本読みを聞かせてあげたいと思います。ほのか、いつまでも私の本読みにつき合ってくださいね。

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

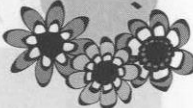
子どもたちに命の大切さ、思いやり育む 「人権の花」運動植え付け式「今帰仁小」

人権思想の啓発活動の一環として昭和五十八年度から実施されている「人権の花」運動植え付け式が十月五日、今帰仁小学校（謝花良俊校長、児童数三百三十三人）で行われた。

これは那覇地方法務局名護支局（高江洲幸一支局長と名護人権擁護委員協議会（宮城源一会長）主催によるもの

で、今年は今帰仁小学校をはじめ県内六つの「人権の花」運動指定校で植え付け式が実施された。

当日は模範植え付けの後、八種類約四千本のコスモス、マリーゴールド、万寿菊、ペゴニアなどの苗木を児童ひとり一鉢ずつ丁寧に植え付けた児童会長の大城鼓さん（十六年）は「今日植え付けた苗の



水かけ、草取りなどの手入れをしながら思いやりと助け合いの温かい花を一杯咲かせたい」とあいさつした。



▲八種類の苗木を植え付ける児童



▲子どもたちの歓声の中、園内に放されるオオゴマダラ

兼次小に ちょうちょう園完成

オオゴマダラ飛び回る

自然の動植物を愛護する心を育てようと兼次小学校（上間久武校長、児童百七十七人）でこのほど待望のちょうちょう園が完成し、九月二十四日、全校児童やPTAが参加して開園セレモニーが行われた。

このちょうちょう園は来年初立百周年を迎える同校の記念事業として期成会をはじめPTAの協力を得て校内に設置されたもので、約四十平方メートルの園内にはオオゴマ

全国地域安全運動

みんなで進めよう 安全、安心の街づくり

平成十一年度全国地域安全運動本部地区住民今帰仁大会が十月八日、村コミュニティセンターで開かれた。

大会には、本部地区防犯協会をはじめ本部警察署、村内の児童生徒やPTAなど二百人が参加。西島一將本部地区防犯協会会長は「一人ひとりが地域安全に対して深い認識を持って本地区から犯罪、少年非行をなくし、安全で住みよい地域づくりのために皆様方のなお一層のご協力をお願いしたい」とあいさつ。

その後行われた小学生、中学生、高校生代表の意見発表で渡久地史枝さん（今帰仁小六年）は「この地域安全運動



▲地域安全を訴える西島一將防犯協会会長

を通して一人ひとりが力を合わせて安全で安心して暮らせる村づくりを目指している」と呼びかけ、當間若菜さん（今帰仁中二年）は「今私たちが一番関心を持たないといけないのは、これからの未

来に向けて明るい社会をつくるために何が必要かを考えること」と述べ、また、金城愛乃さん（北山高二年）は「友達に誘われても断る勇気や注意することも大切。今帰仁村の青年として責任ある行動がとれるよう頑張りたい」と決意を語った。

大会終了後は天底小金管バンド部の伴奏で瀬底小中、兼次小、兼次中からそれぞれの手作り獅子も参加して地域安全を呼びかけながら、づけやまスープまで約五百メートルをパレードした。



▲金城 愛乃さん ▲當間 若菜さん ▲渡久地史枝さん



▲獅子も参加して街頭パレード

若い世代に平和の尊さ 語り継ぐ与那嶺で「慰霊碑」 建立除幕式

与那嶺区（山内清区長）の「慰霊碑」建立除幕式が十月十一日、同区内で行われ、区民や関係者約百三十人が参加

ダラの食草（ホウライカガミ）が植えられている。

セレモニー終了後、本部町山川の「琉宮城蝶々園」（具志堅猛社長）から寄贈された五十匹のオオゴマダラがさっそく園内に放され、自由に飛び回るチョウに児童らは歓声を上げていた。

上間校長は「今後、ちょうちょう園が大いに活用され、総合的な学習に役立てることで皆様方の期待にこたえていきたい」と話していた。



▲除幕式で慰霊碑の完成祝う

して恒久平和への決意を新たにされた。
この新しい慰霊碑は、昭和二十四年に建立された慰霊塔の老朽化に伴い、このほど完成したもので、慰霊碑には去った戦争でなくなられた八十八人の御霊が祭られている。除幕式で山内清区長は「戦争でなくなられた尊い犠牲の上に今の平和がある。恒久平和を子々孫々まで引き継いでいくのが私たちの努め」とあいさつした。

また、遺族会を代表して志喜屋清子さんは「大勢の真心のこもったお力添えを得て慰霊塔は見事に生まれ変わった。皆様のご好意に対し、私たちは感謝の気持ちで一杯」とお礼の言葉を述べた。

知念孝俊さんが安全運転の塔を建立 サミットの成功を誓う



▲交通安全の塔「除幕式」



知念孝俊さん

関係者多数が参加した。

除幕式で東恩納盛義本部警察署長が「この石碑の建立は秋の交通安全運動を盛り上げる意味でも大きい。知念さんの同運動に対する熱意がうかがえる」とあいさつ。続いて知念孝俊さんは「私たちがサミットに協力できるのは交通安全だけ。これを機会に交通マナーの向上に努めていきたい」と決意を述べた。

本部地区交通安全協合理事の知念孝俊さん（湧川一五七九一四、美樹園経営）がかねてから計画を進めていた「安全運転の塔」がこのほど完成し、その除幕式が九月二十一日、石碑の建立された国道五〇五号沿いの美樹園で行われた。その日は秋の全国交通安全運動初日とあって本部警察署や同地区交通安全協会

地域ぐるみで無謀運転などを一掃 秋の全国交通安全運動出発式



▲出発式を盛り上げる「いまじん太鼓」

の追放など。

「広げよう ゆとりと視野と 車間距離」をスローガンに村交通安全推進協議会(上間博安会長)の交通安全出発式が九月二十一日、村コミュニティセンターで開かれ、関係者多数が参加した。

大会で上間博安村交通安全推進協議会長や東恩納盛義本部警察署長、大見恒篤本部地区交通安全協会長のあいさつに続いて、いまじん太鼓代表の運天琴美さん(今帰仁中二年)と上原愛美さん(同中二年)の意見発表があり、運天さんは「事故とは自分は大丈夫だろうという油断から生まれる。どんな人でも自分に関係ないと思わず、一歩先の注意を心掛けてほしい」と述べ、上原さんは「この間、初めて交通事故の現場を見てその怖さを改めて知った。私が大きくなって車を持つようになったら安全運転に努めていきたい」と話した。

山内昌雄村老人会長が交通安全宣言を行った後、いまじん太鼓の力強い演舞で大会を盛り上げた。また、式典終了後に予定されていたパレードは台風接近のため中止された。



上原 愛美さん



運天 琴美さん

ん太鼓の力強い演舞で大会を盛り上げた。また、式典終了後に予定されていたパレードは台風接近のため中止された。

大宜味村から本村へ 交通安全旗引き継ぎ式



▲上間村長に交通安全旗が手渡された

交通安全旗市町村リレー引き継ぎ式が九月二十八日、村役場玄関前で行われ、役職員大勢が出迎えた。これは交通安全意識の高揚と普及啓発を図るのが目的。



▲お父さんと楽しいひととき!

恒例となった村立保育所(仲尾次、中央、仲宗根、今帰仁)の合同運動会が十月九日、村運動公園で行われた。

会場には朝早くから我が子の晴れ舞台を一目見ようと父母や大勢の家族連れが詰め掛け、四つのコーナーから各保育所ごとに入場する園児に大きな声援が送られた。

各種目ごさわやかな汗 村内小・中学校で運動会

都合により繰り上げ実施された天底小と古字利小中を除く村内五つの小、中学校で運動会が行われた。

九月十九日の兼次中、今帰仁中を皮切りに二十六日には兼次小、今帰仁小、湧川小中の各校でそれぞれの目標、テーマを掲げて取り組んだ練習の成果を披露した。

兼次中学校(高江洲進校長、児童数百六人)では、「秋空の下 成功させよう 歴史に残る大運動会」をテーマに五十二回目の運動会を開催。千五百メートル走「プロムナード」学級対抗三十四人三十五脚リレー」など兼次中独特の種目に詰め掛けた家族から大きな拍手が送られた。

兼次中学校(高江洲進校長、児童数百六人)では、「秋空の下 成功させよう 歴史に残る大運動会」をテーマに五十二回目の運動会を開催。千五百メートル走「プロムナード」学級対抗三十四人三十五脚リレー」など兼次中独特の種目に詰め掛けた家族から大きな拍手が送られた。



▶専門委員会リレー(兼次中)

北山キング 優勝を飾る

野球を通して親子の触れ合い、子ども会の育成を図ろうと十月十一日、村子ども育成連絡協議会(喜屋武治樹会長)主催による親子野球大会



▲チーム一丸の優勝に満面の笑顔

が村営グラウンドで行われ、北山キングが決勝で天底クラブを五対〇で下して優勝した。親子で編成されたこのチー

豊漁、豊作を願 古字利島でウソヅル



▶塩屋に向かって折りを捧げる神人

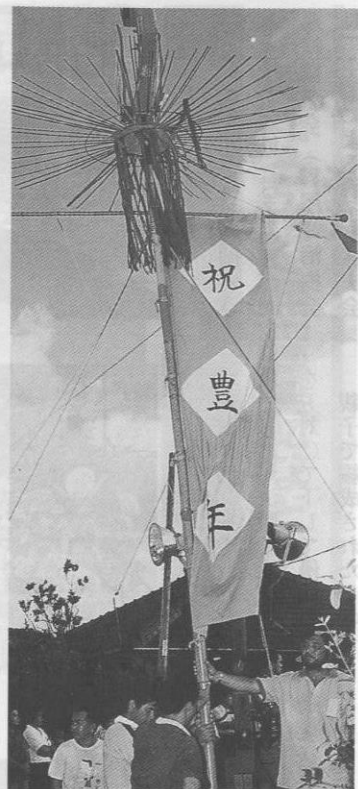
沖繩人類発祥の神話が伝えられている古字利島(王城吉武区長)で八月二十七、二十八の両日、ウソヅルが行われた。白装束をまとい、頭にはハブイ(リュウキユウボタンヅル)をかぶった八人の神人(カミンチュ)らが旗を持ち、アサギに勢揃いすると御願が始まる。

フンシーヤ、御宮で御願を行い、神人がアサギ庭を七回往復する。その後、旗を持った神人だけが海に突き出た岩場に立ち、塩屋に向かって旗を権に見立て舟を漕ぐしぐさを見せ今年の豊漁、豊作を祈願した。

午後からは会場を古字利港に移してハリー大会が行われ、島の青年らによる力強い御願パリーの後、十六チームが出場して戦域ハリーに熱戦を繰り広げた。

中秋の名月に多彩な演舞を披露 村内五カ字で豊年祭

旧暦の八月十日から十六日にかけて村内五カ字（今泊、謝名、湧川、勢理客、上運天）で豊年祭が行われ、区民の健康と五穀豊穡を祈願した。今年も豊年祭の当たり年。勢理客で台風十八号のため日程を変更した以外は予定されていた全ての字で行われた。毎年豊年祭を行っているのが湧川と上運天、四年マールあるいは五年マールが今泊、謝名、勢理客である。豊年祭はほとんどの字で華やかな道ジュネーに始まり、獅子舞い、路次楽、棒術、寸劇、踊り（上り口説、加那ヨ一、高平万才）など短い練習期間の中、区民総ぐるみで仕上げた各字ならではの演目が今年も注目を集めた。



▲双子の息の合った川平節（勢理客）



▶迫力満点 今泊棒術



▶稲しり狂言（謝名）



▶上り口説（上運天）



▲道ジュネーで練り歩く（湧川）

写真にみる今帰仁

96

古宇利島の海神祭（ウンジャミ）

毎年旧盆明け最初の亥の日に行われる古宇利島の海神祭（ウンジャミ）。今年は八月二十七日に行われた。その頃に行われる祭祀を大折目（ウブユミ）と呼ぶ場合もある。

一七一三年編纂

『琉球国由来記』の郡（古宇利）巫火神と神アシアゲの所に「大折目」と記され、古宇利でも海神祭を大折目と呼び、「由来記」編纂の年代から一七一三年にはすでに行われていた。海神祭が行われるようになってから、少なくとも三百年以上の歴史を持っていることになる。



▲古宇利島の海神祭（ウンジャミ）（1958年、新城徳祐氏提供）



▲ヒチャバアサギの男神人達（1958年、新城徳祐氏提供）

今回紹介する写真は、一九五八（昭和三十三年）年の海神祭の場面である。後方に茅葺き屋根の神アサギがあり、アサギナー（アサギの庭）で弓（ヌミ）を持ち、頭にハートブ

イ（リュウキウボタンツル）をかぶり、白や色柄（赤の模様）のついた神衣裳を着た神人達が、コの字型に七回往復する。弓（ヌミ）の代わりに植物（ダンチク）を持つ

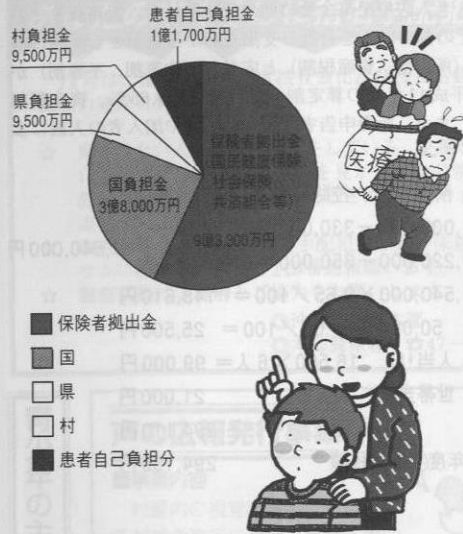
た神人が一人いるが、その年に新しく神人になった方である。弓に餅を結び、それを落とす所作がある。餅を落とし、後に、神人一人ひとりに餅が配られる。弓の先に結ばれた旗はトーシンケージ（唐船旗）と呼ばれ、進貢船が描かれている。それは唐旅を意味のだろうか。二枚目の写真も同じく一九

五八年の海神祭で、シチャバアサギでの様子である。アサギナーからフンシヤーに移る。庭先の小さい祠を船首とみなし、二本の縄を張り船に見立て、神人達は縄の中で弓で船を漕ぐ仕草をする。次に神道を通りシチャバアサギ（クワツサヤグワの隣）に向かう。座っている三人の男性は男神でフンシ神（古宇利春夫氏）、オーギ神、クニヌ神だという。お膳に盛られているのは、神餅やお米やお菓子。それと神酒（泡盛の瓶がある）である。

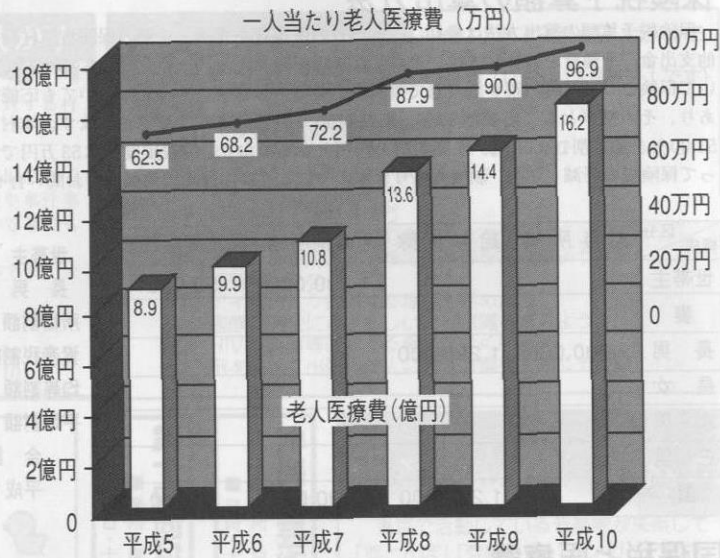
四十年前の古宇利の海神祭の様子をニコマの写真から紹介してみた。当時からすでに神人をして古宇利春夫さんや兼次フミさんなど、若い頃の姿が見える。このように島で生活している人の姿を見ると、人々と島が一体となって歴史を刻んでいることがひしひしと伝わってくる。

仲原 弘 哲
（歴史文化センター）

平成10年度 老人医療費負担割合



今帰仁村の老人医療費



医療費を有効に活用しよう!



秋の訪れを感じる今日この頃、村民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
さて、今回は、今帰仁村における老人医療費についてお話ししたいと思います。今帰



仁村の医療費が増えている原因には生活習慣病の増加、入院期間の長期化、医師の指示を守れないなどといったことがあげられます。そこで医療費を有効に活用し、いつまでも健康ですやかな毎日を送るための工夫や今帰仁村で行われるサービスについてご紹介したいと思います。



- ① 毎年、住民健診を受けていますか?
毎年健診を受け、自分の身体の状態を知ることが大切です。また、健診を受けっぱなしではなく、自分の健診結果を健康づくりに生かしましょう。生活習慣病は、一度かかってしまうとなかなか治らない病気ですが、自分の身体の状態を知り、生活を見直すことでできれば十分防ぐことができる病気なのです。
- ② 保健婦に身体のことを気軽に相談してみませんか?
毎週月曜日の午前中は健康相談日となっておりますので、どんな小さなことでも気になることがございましたら、お気軽にご相談下さい。



③ 健康手帳を活用していますか?
老人医療受給者証の発行と同時に交付される手帳が健康手帳です。健康手帳は、血圧や体重の記入、健康診査の記録など自分の身体の状態を知るための様々な工夫がされた便利な手帳です。持っているだけではなく、どんどん活用しましょう。また、この手帳は四〇歳以上の方でも交付する事ができますので必要な方は保健婦へご相談下さい。

④ かかりつけのお医者さんは
に相談してみませんか?
今年四月にオープンした保健センターには、村民の皆様が健康づくりを支援する保健婦がいます。
毎週月曜日の午前中は健康相談日となっておりますので、どんな小さなことでも気になることがございましたら、お気軽にご相談下さい。



大切にしたい医療費

みんなであえて いる老人医療費

今帰仁村の老人医療費は毎年約一億円ずつ増え続けています。平成十年度については一年間で十六億円に達しました。老人医療費の九割以上は各医療保険(国民健康保険や社会保険、共済組合等)からの拠出金と国や県、村からの公費によってまかなわれています。このまま推移していくと、各医療保険、今帰仁村の財政は益々厳しくなり、若い

自分自身のことを気軽に相談したり、信頼のできるお医者さんにはいますか。信頼の

できるお医者さんがいれば、医師の指示や薬を飲むことが負担になりませんし、病気を悪化させることもなくなりやすくなります。

いくつかご紹介しましたが、いかがでしょうか。いつまでも健康な毎日を送るために、医療費や村の健康を支援する様々なサービスを有効にご活用下さい。

人気映画「釣りバカ日誌」

与那嶺でロケ 三国連太郎さん来村

松竹映画「釣りバカ日誌11」のロケがこのほど与那嶺で行われ、話題になっている。釣りバカ日誌は、平社員ハマちゃん(西田敏行さん)と会社社長のスーさん(三国連太郎さん)が繰り広げる人情喜劇。
ロケは、稲福一正さん(与那嶺一〇七)の自宅を貸し切



▲撮影の合間にくつろぐ三国さん

たこのことで今回のロケには参加していなかったが、人気映画だけに来年二月公開が楽しみだ。

介護保険要介護認定調査員 三人に委嘱状を交付

十月一日、村は来年四月からスタートする介護保険制度に向け、介護保険要介護認定調査員に委嘱状を交付した。
委嘱されたのは、小那覇江美子さん(勢理客三二五)、金城よし子さん(仲宗根四六六)、大城佳代子さん(仲宗根二〇六)の三人で、今後、

調査員として各家庭を訪問し、高齢者の日常生活や心身の状態などを全国共通の調査項目に従って調査する。

また、村内の老健施設(乙羽園、和光園、北山病院)の調査についてはそれぞれの施設の調査員があたることになっている。



▶(写真左から)小那覇江美子さん、金城よし子さん、大城佳代子さん

あまから 伝言板 くまから

あなたのすぐそばに指名手配犯人が!

11月は、指名手配被疑者捜査強化及び捜査活動に対する村民協力確保月間です。

- ☆ 見かけない人が不審な行動をしている。交番等に貼られている指名手配犯人に似た人を見かけたなど情報や事件事故に遭ったり、聞いたりしたときはどんなささいな事でも素早く110番して下さい。
- ☆ 現在オウム真理教の指名手配犯人3名が未検挙です。オウムに関連する情報も110番通報願います。
- ☆ 警察活動にご理解とご協力をお願いします。

◎沖縄県警察本部
◎本部警察署 ☎47-4110

「第51回人権週間」!!

平成11年12月4日(土)から10日(金)
(12月10日は「人権デー」です)

強調事項

- 平成11年度啓発活動重点目標
「考えよう あなたの人権 わたしの人権 一ひろげよう心と心のネットワーク」のほか、次の事項とします。
- ◎ 女性の地位を高めよう
 - ◎ 子どもの人権を守ろう
 - ◎ 高齢者を大切に育てよう
 - ◎ 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
 - ◎ 部落差別をなくそう
 - ◎ アイヌの人々に対する理解を深めよう
 - ◎ 国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
 - ◎ HIV感染者等に対する偏見をなくそう
 - ◎ 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう

青少年の主張大会は都合により休みます。

声の広報発行事業

■事業内容

村管内の視覚障害者に対し、村広報等の発行に併せ、録音広報により、必要な行政情報等を提供します。

盲人用テープレコーダーを給付

声の広報発行事業にともない、視覚障害者二級以上の方で、テープレコーダーが必要な方に給付致します。

●問い合わせ先 今帰仁村役場福祉課 ☎56-2101

●税を知る週間(名護税務署)

平成11年11月11日(木)~17日(水)

第十四回村親善チャリティーゴルフ大会

■場所: 嵐山ゴルフ倶楽部
■期日: 十一月十五日(月)

沖縄県芸術祭 組踊・古典音楽公演

■場所: 村コミュニティセンター
■日時: 十一月二十日(土)午後六時開演 六時三十分開演

歌とバイオリンとフルートによる 二人のコンサート

東京で活動している音楽家が来県して「赤とんぼ」「荒城の月」「ハンガリア舞曲」など、お年寄りからお子さんまで幅広く楽しめる歌と名曲の数々を披露します。

歌、ピアノ・・・山岸公子(東京芸大卒)
バイオリン・・・中嶋齊子()
フルート、ピアノ・・・鈴木露子()

日時: 平成11年11月21日(日) 午後2時~

場所: 村コミュニティセンター
●前売券・・・1,200円(小学生以上)
●当日券・・・1,500円

●問い合わせ先 今帰仁村字運天 画廊喫茶ピカソ ☎56-2867



▲郷友会からの寄付金の贈呈式

ご寄付

- 村社会福祉協議会へ
- 今帰仁郷友会(浦添市大平二一四一六、川田潤会長)より社会福祉の充実に役立てて下さいと十万円。
 - 大城淳稔さん(天底一八九)より母、カナ様の米寿祝い記念として十万円。
 - 与那嶺秀蔵さん(嘉手納町字水釜三七三一一五四)より父、秀雄様の香典返しとして十万円。
 - 与那嶺尚子さん(崎山二五五)より義母、ナヘ様の香典返しとして十万円。
 - 山内ミネ子さん(謝名二二六)より夫、昌藤様の香典返しとして二十万円。

- 久場初美さん(古宇利二二六七)より夫、眞頼様の香典返しとして五万円。
- 田港朝治さん(天底二二一)より母、ウト様の香典返しとして十万円。
- 仲松静枝さん(呉我山三七五)より夫、弥貞様の香典返しとして十万円。
- 琉球放送(那覇市久茂地二一三一、岸本金三社長)より社会福祉事業に使って下さいと車イス一台。
- 村育英会へ
- 琉球セメント(浦添市西洲二二二、宮里俊一社長)より人材育成に役立てて下さいと五十万円。



▲寄付金を上間村長に手渡す 比嘉國男琉球セメント工場長

《このようにして決められています》

保険税予算額の算出方法

保険税予算額の算出方法は最初に一人当りの医療費を定め、7割の保険者(村負担)老人医療拠出金その他の保険給付費、総務費、その他支出金、予備費を合計します。そして収入の国庫支出金、一般会計からの繰入れ金その他の収入を合計し支出合計から差引きした額について保険として賦課(税を割り当てて負担させる)します。賦課額についても応能割(所得割、資産税割)と応益割(均等割、平等割)があり、その割合として応能割50%、応益割50%の算定方式で算定されます。本村の平成11年度の算定割合は、所得割9.65%、資産税割51.00%、均等割16,500円、平等割21,000円となっており、課税限度額は53万円です。また、所得申告者に限り、所得や加入者の人数によって保険税の軽減(割引)制度もありますので詳しくは住民課国保係までお問い合わせ下さい。

区分	給与所得	給与控除	其他所得	固定資産税額
世帯主			1,000,000	50,000
妻				
長男	2,000,000	1,220,000		
長女				
次男				
三男				
計		1,220,000	1,000,000	50,000

	所得割	控除額
世帯主	1,000,000 - 330,000 = 670,000	= 1,540,000円
長男	1,220,000 - 350,000 = 870,000	
所得割額	1,540,000 × 9.65 / 100 = 148,610円	
資産税割額	50,000 × 51.00 / 100 = 25,500円	
均等割額(1人当り)	16,500 × 6人 = 99,000円	
平均割額(1世帯当り)	21,000円	
合計	294,110円	
平成11年度 保険税額	294,100円	

国保税と医療費 今帰仁村国民健康保険条例の一部改正について

国保に加入するすべての村民が病気やケガをしたときにかかった医療費の総額を見てみると表1のとおり毎年増え続けています。医療費が増え続けている理由として

- ①高齢化により、慢性疾患をもつ人が増加した。
- ②医療技術の進歩により費用が高額になるケースが増えてきた。
- ③物価上昇があげられます。

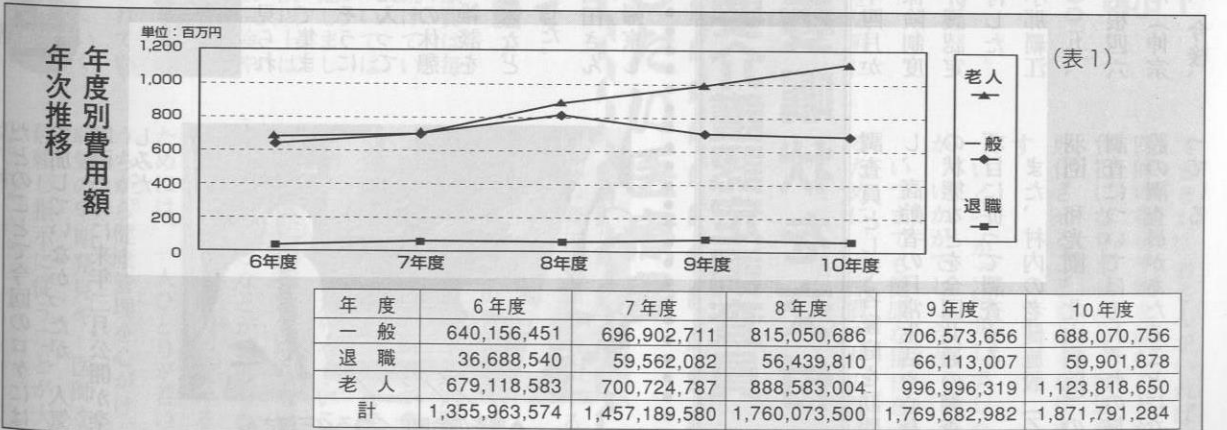
高齢化社会となるに従い、今後も医療費の増加が予想されます。特に高齢者の加入割合が高い国保の場合は、老人医療拠出金の額が多くなり財政的に益々苦しくなっていくことが予測されます。

一方、国保加入者の皆様から徴収された国保税の税率は、平成7年度から据え置かれています。増え続ける医療費に対応するため去った今帰仁村9月定例議会において、今帰仁村国民健康保険条例が改正されました。

今回の改正により、平成11年度の所得割、資産税割、均等割、平等割の税率及び税額が変わり、第4期(11月)徴収分から新しい率で計算されることになりました。改正による

単位:千円

	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
一年間に国保特別会計から支払われる医療費及び老人保健拠出金	749,907	842,446	950,699	861,915	927,046
一年間に国保税として加入者から徴収した額	189,239	184,120	188,545	193,375	195,116
一年間に一般会計から国保会計に繰り入れた額	100,395	109,186	117,114	137,214	131,682



11月/霜月

1月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター) ○心身障害児通園事業 (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン) ○デイサービス (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン)
2火	
3水	○文化の日
4木	○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 午後1:30~3:30 保健センター)
5金	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○乳児健診 (保健センター)
7日	○沖縄県高等学校駅伝競走大会、村運動公園スタート (女子10:00 男子12:20)
8月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター) ○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 午後1:30~3:30 保健センター)
9火	○ポリオ予防接種 (保健センター) ○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 午後1:30~3:30 保健センター)
10水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
11木	○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 午後1:30~3:30 保健センター) ○風疹予防接種 (中2)
12金	○ツール・ド・おきなわ (名護市民会館スタート・ゴール、14日まで) ○婦人健診 (もれ者)
13土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○小学生ムラ・シマ講座 ○スーパードッチ大会 (運動公園)
14日	○今帰仁郷友会運動会 (沖縄電力グラウンド)
15月	○村親善チャリティーゴルフ大会 (嵐山ゴルフ倶楽部) ○健康相談 (午前9:00~11:00 午後1:30~3:30 保健センター)
16火	○牛セリ (セリ市場) ○離乳食実習 (保健センター)
17水	○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 保健センター) ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター) ○無料法律及び行政相談 (10:00~16:00 コミセン)
18木	○歯科相談 (呉我山、湧川、天底、勢理客、渡喜仁、上運天、古字利) ○住民健診後健康相談 (午前9:30~11:30 保健センター) ○区長会 (14:00~ 2階会議室)
19金	
20土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○風疹予防接種 (中2もれ者、保健センター) ○県芸術祭 (組踊り、古典音楽公演 午後6:00 コミセン)

21日	○壮年ソフトボール大会 (サブグラウンド)
22月	○健康相談 (9:00-11:00 保健センター)
23火	○勤労感謝の日
24水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
25木	○デイケア ○DPT予防接種 (小6、保健センター)
26金	○一人暮らし老人激励会 (コミセン)
27土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
28日	○村バスケットボール大会 (村民体育館)
29月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター) ○糖尿病予防教室① (保健センター)
30火	○広域学習サービス講座「2000年サミットINやんばるの 効果」講師、小濱哲氏 (午後7:00~10:00 中央公民館)

12月/師走

1水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
2木	○DPT予防接種 (保健センター) ○各種団体ソフトボール大会 (運動公園)
3金	○糖尿病予防教室② (保健センター)
4土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○DPT予防接種 (小6もれ、保健センター)
5日	
6月	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター) ○区長会 (14:00~ 2階会議室)
7火	○1才半・3才児健診 (保健センター)
8水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~15:30 保健センター)
9木	○歯科相談 (越地、謝名、仲宗根、王城) (保健センター)

編集後記

■十月二日に村運動公園サブグラウンドで行われた陸上競技大会(前日競技)は午後四時頃から降り出した大雨で大会の開催が危ぶまれた。その日競技役員の弁当(ジューシー)を一手に引き受けた今帰仁の駅(ソイレ)では、職員らが降りしきる雨に気をもみながら弁当作りに励んだ。

■「この大雨どうかしな」と思いついたのが、弁当の中に輪切りにしたミカンを太陽に見立てての雨ごい。ソイレの皆さんの気持ち、競技開始直前、雨はピタリと止まり、グラウンドでは各字の選手らが水しぶきを上げながら熱戦を繰り広げた。

■ソイレの皆さんの優しい心遣いに感謝、感謝。大会長に代わりまして御礼申し上げます。